

＜今日の説教のポイント テモテへの手紙 I 4章 11～16節＞

### 1 テモテは何歳？ 立場は今の何？ 牧師？ 長老？

「あなたは、年が若いということで」(11)とありますから、「テモテは何歳？」と思いますが、30歳は超えています。「ではテモテの立場は？」というと、「聖書の朗読と勧めと教えに専念しなさい」(13)とありますから今の教師（牧師）にあたります。同時に、パウロはそのテモテに「信じる人々の模範」(12)となることを求めていますから、ここでパウロが語りかけている全内容は全ての信仰者にとっても大事な内容です。

### 2 模範になるべき「言葉、行動、愛、信仰、純潔」(12)の意味は？

パウロはテモテに模範となるべき点を5つを挙げていますが(12)、前者二つと後者三つには違いを感じます。御言葉から学ぶことが「愛、信仰、純潔」、それが発揮される場が「言葉、行動」、その違いと言えるでしょう。先週の研修会でお話ししたこと、「ヤコブの手紙」の中で繰り返し語られていたことを思い出します(1:19以下、「聞くに早く、話すに遅く、怒るに遅く」、3:1以下「舌を制御せよ」、4:11-12「悪口を言い合うな」)。つまりパウロは、聖書が教える通りに生きていたなら年が若くても人は認めると言っているのです。逆に、信仰者としての年齢を重ねて来た年配の牧師や長老や信仰者はなおさら若者に信仰的な言葉を語り、信仰的な行動を示していく責任があるのです。

### 3 パウロの励ましの中心 — 御言葉に聞いて学んで歩みなさい —

パウロは後半で、テモテにこれらのことに希望を持って取り組んでいける理由も語って励ましています。「聖書の朗読と勧めと教えに専念しなさい」(13)は、テモテ自身に励みを与える一番の言葉でもあります。御言葉に聞いて立つことをどれだけ重んじているか、信仰内容はそれで決まります。「自分自身と教えとに気を配りなさい」(16)でも、パウロは同じことを考えています。教え(御言葉)から離れて自分自身に気を配っても疲れるばかりで平安は訪れません。本気で御言葉に聞き、主イエスを思い、主イエスに聞き従って生きていく、これです！(マタイ 11:28-30)。また、主の教会は初めから神様が私たちに働きかけて下さる色々な恵みを色々な外的しるし(洗礼や任職式(14))で「受けとめます」と告白してきました(旧約の民も：民数記 8:10)。神様を信頼して歩み続けるなら、必ず信仰の「進歩(前進)」(15)が与えられるのです！